

ESGファイナンスの時代、 投資家はここからどう動く!!

政府の未来投資会議では、SDGsやESG投資への共感を広げ、これを経済を動かすためのツールとして戦略的に活用し、同時にダブル・コードの規律によって、インベストメント・チェーンの好循環を加速させようとしています。一方、市場構造の在り方等の改革も待たなしの状況と言われ、多くの日本企業の課題であるPBR 1倍割れの非合理的経営への見直しも進むでしょう。

ESGファイナンスが本格化する中、資本市場がこれからどう変化し、投資家がどう動くのか、アカデミアや規制当局、投資家それぞれの立場からご講演をいただきます。後半のパネルディスカッションでは、講演者と参加者の皆様とのQ&Aセッションを交えながら、投資家対応や情報開示について、実務的な視点から、活発な議論をしてみたいと思います。

※ JAPAN IRサミットは、創設時の2015年以來の開催となります。企業価値レポート・ラボ(運営:EDGE基礎研究所)は、「対話先進国」を目指している日本の方策や環境づくりに貢献し、統合的な企業情報開示やKPI、中長期の投資判断に有用なレポート・ラボの知見を集約し、中立的な立場から、引き続き、情報発信をしていきます。国内外の関係者の皆様との交流の場としても、活発にご利用いただけるよう努めていきます。

日 時 2019年11月28日(木) 13:50～17:05 (受付開始13:30)

会 場 ステーションコンファレンス東京5F 503会議室

東京都千代田区丸の内1-7-12サビアタワー 5F

アクセス: <https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

○ JR「東京駅日本橋口」直結、新幹線「日本橋口改札」徒歩1分、八重洲北口改札徒歩2分

○ 東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口直結

対 象 上場企業のIR、広報、CSR、経営企画、経理・財務部門の担当役員・担当者、cvrlメンバー登録者

○ 申し訳ございませんが、同業他社、コンサルティング会社、個人の方々はお断りしています。

定 員 100名程度

○ 定員になり次第締め切らせていただきます。受付者には別途、受講票を発行いたします。

応募多数の場合は、キャンセル待ちとさせていただきます場合があります。

参 加 費 無料・招待

登 壇 者 川北 英隆氏 京都大学名誉教授・同経営管理研究部特任教授

池田 賢志氏 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー

古布 薫氏 インベスコ・アセット・マネジメント 日本株式運用部

レスポンス・インベストメント・オフィサー

松原 稔氏 リソナ銀行 アセットマネジメント部 責任投資グループ グループリーダー

主 催 企業価値レポート・ラボ / EDGE基礎研究所

企画・運営 株式会社エッジ・インターナショナル

お申込み

参加ご希望の方は seminar@edge-intl.co.jp に「件名: 11/28cvrlセミナー参加申し込み」で、氏名・会社名・部署名・メールアドレス・電話番号を記載してお送りください。

お問い合わせ先: Tel: 03-3403-7750 (セミナー担当) / MAIL: seminar_info@edge-intl.co.jp

ごあいさつ (10分)	13:50～14:00	「統合レポートとESG」 株式会社エッジ・インターナショナル 代表取締役 梶原 伸洋
講演Ⅰ (30分)	14:00～14:30	「20年間ESGを眺め続けて思うこと(仮題)」 京都大学名誉教授・同経営管理研究部特任教授 川北 英隆氏
講演Ⅱ (30分)	14:30～15:00	「サステナブルファイナンスの動向と日本の対応(仮題)」 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー 池田 賢志氏
講演Ⅲ (30分)	15:00～15:30	「長期アクティブ投資家の視点からのステュワードシップ活動と企業の方々に望むこと(仮題)」 インベスコ・アセット・マネジメント 日本株式運用部 レシポンシブル・インベストメント・オフィサー 古布 薫氏
休憩15分		
パネル ディスカッション (80分)	15:45～17:05	「どうなる企業情報開示・建設的な対話の将来」 —ESGファイナンスの時代、投資家はここからどう動く!!— ・今はやりのESG指数による投資をどう思うか、長期の株価指数はつくれないのか ・議決権行使助言会社どおりで良いのか、機関投資家の投票行動はどうあるべきか ・機関投資家から見た感度が良い企業の対話や情報開示 パネリスト 京都大学名誉教授・同経営管理研究部特任教授 川北 英隆氏 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー 池田 賢志氏 インベスコ・アセット・マネジメント 日本株式運用部 レシポンシブル・インベストメント・オフィサー 古布 薫氏 モデレーター リそな銀行 アセットマネジメント部 責任投資グループ グループリーダー 松原 稔氏

登壇者プロフィール

川北 英隆氏

京都大学名誉教授・同経営管理研究部特任教授、みずほ証券株式会社社外取締役、日本取引所自主規制法人外部理事。日本生命保険相互会社(取締役財務企画部長等)、中央大学国際会計研究科特任教授、同志社大学政策学部教授、京都大学大学院経営管理研究部教授を経る。現在、財政制度等審議会委員、日本私立学校振興・共済事業団資産運用検討委員会委員長、地方公務員共済組合資金運用委員会委員、日本ファイナンス学会理事等を務める。

池田 賢志氏

2019年3月、金融庁に「チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー」のポストが新設されたことに伴い同職に就任。同職においては、気候変動関連の財務情報開示に係るTCFD提言の日本における実施を担当すると同時に、金融庁内のSDGs取組戦略プロジェクトチームの事務局を務めるなど、サステナブルファイナンスに関する職務を幅広く所掌。

古布 薫氏

1997年JPモルガン証券会社投資銀行部門入社、金融法人グループにてアドバイザー業務に従事。2000年JPモルガン・アセットマネジメント株式会社へ転籍、日本株運用部門のアナリストとしてテクノロジー業界を担当。2014年インベスコ・アセット・マネジメント株式会社入社。日本株式運用部のリサーチ・アナリストとしてテクノロジー業界及び金融業界を担当するとともに、レスポンシブル・インベストメント・オフィサーとして日本株式運用部のステュワードシップ活動を統括しグローバルとの連携を行う。

松原 稔氏

1991年4月にリそな銀行入行、2009年4月より信託財産運用部企画・モニタリンググループグループリーダー、2017年4月より現職。日本証券アナリスト協会セミナー企画委員会委員、投資パフォーマンス基準委員会委員、PRI(国連責任投資原則)日本ネットワークコーポレートワーキンググループ議長、持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長・運営委員、経済産業省「グリーンファイナンスと企業の情報開示の在り方に関する「TCFD研究会」」ワーキンググループ委員、環境省「環境サステナブル企業評価に関する検討会」委員等。